



Newsletter No.77 2012.1.28

[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



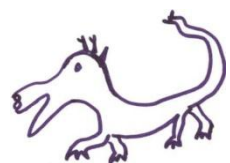
## ポーポキの目標 2012年

今年のキーワード:「つながり」!

1. 『ポーポキ、平和ってなに色? ポーポキのピース・ブック 1』、『ポーポキ、友情ってなに色? ポーポキのピース・ブック 2』、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』の活用を通して、ポーポキの仲間を増やします!
2. 友だちのことをもっと知り、彼らから学び、そしてつながりをいっそう確かなものにします!
3. 被災地をはじめ、始めた活動を継続し、多くの人々とつながり、そして支え合います!
4. 周りの状況(身近な暴力、ハンセン病、HIV/AIDS など)に関心を持ち、旅行や体験についてお互いに報告し合い、継続的にとりあげます!
5. 周囲の人にもよろこびを提供し、みんなで喜びを分かち合います!



本年もよろしくお願いします!



# Popoki's Hot News!



## 新しい本ができました！

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」は、  
只今発売中です。

被災地などで展開している「ポーポキ友情物語プロジェクト」の記録です。売上の一部は被災地へおくる予定です。ぜひ回りの方々に広めていただきたいと思います。(エピック 2012. 1. 17 発行)。

(カラー・64 頁・A5 判・  
バイリンガル日英・1500 円(税込))

国内の本屋さん・amazon.co.jp, 出版社 エピック、ポーポキ・ピース・プロジェクトなどで入手できます。

**新本が新聞で紹介されました！ 下記のサイトへどうぞ。**

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html>

←神戸 YMCA でも販売していますよ！



## 3月のポー会は、学習ポー会です！

みんなで「いのち」について考えたいと思います。

日時：2012. 3. 10(土) 14:00-17:00

場所：神戸 YMCA 三宮会館

持参するもの：① 持参するもの：五感をとおして、「いのち」を示すもの。  
(例えば、一枚の写真、特定のにおいや味や感触をするものなど(1点)、  
② マイカップ、③ できれば好きなお菓子(少々)



ポーポキ募金に1円玉がたくさん！  
ありがとう！



## 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのさとちゃんから届いた平和：

「1月17日の朝、私は今までの数々の思い出を辿る。私が思い出になるまで。」

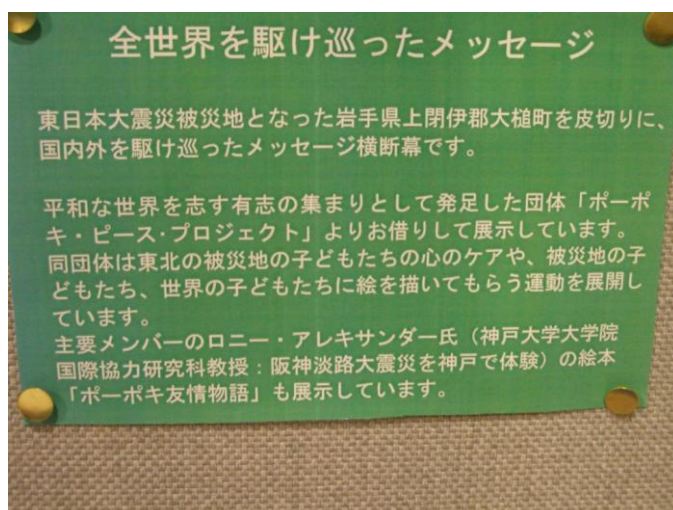
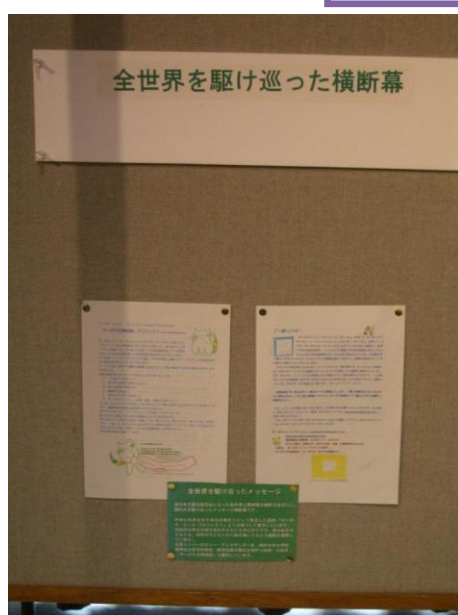
あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。  
ポーポキのメール [popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へ！

# ポーポキ友情物語 at 神戸市民ギャラリー

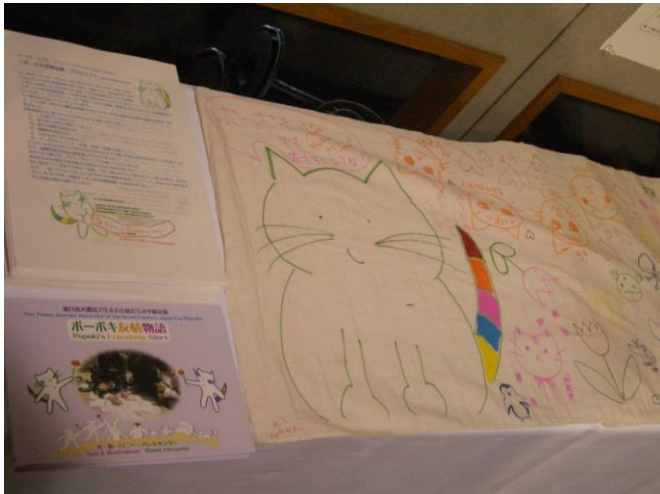
1995 年 1 月 17 日に起こった阪神・淡路大震災を考える展示が 1 月 16 日～22 日まで神戸市役所 2 階市民ギャラリーで開催されました。当時の写真やメッセージ、子どもたちからのメッセージ、東日本大震災に対する取り組みなどの展示の中に、ポーポキ・ピース・プロジェクトは、ポーポキ友情物語（1 枚）、説明版（3 枚）と本を展示しました。約 1500 人の方々に見ていただき、「いのち」について考えるきっかけになったと思います。17 年も経っていますが、展示を見ているうちに涙が止まらなくなりました。今日も大切に生きよう。（ロニー）



市役所職員のみなさま、お疲れ様でした！







(左上)市役所南隣の東遊園地で1.17のろうそくが並ぶ。(市役所24階から)。  
 (右)ろうそくの現場  
 (左下)神戸市長もポークキの展示を観ました。



2012.1.17

今年も 1 月 17 日がやってきました。

東日本大震災以来、初めての 1.17。

17 年前のあの日。

原発の被害を心配していたあの日。

友人・家族・知人・学生・知っている人も知らない人も

ペット・動物・鳥・魚・植物・樹……

いのちの尊さを感じたあの日。

今日も

世界のどこかで

涙を流している人はいる。

小さいけど、私のハンカチをどうぞ。

今日も

私は泣くかもしれない。

あなたの小さなハンカチ、ありがとう。

明日は

涙を流しながらでも

微笑みが生まれるといいね。

小さなハンカチと一緒に

大きな笑顔を送ります。



2012.1.17 ポーポキ・ピース・プロジェクト

ロニー・アレキサンダー

# ポーポキ at 健美館 AMDAおおつち健康サポートセンター開会式！

2011.12.18 に岩手県大槌町に「AMDA おおつち健康サポートセンター・イエローハウス・健美館」の開会式にポーポキ、さとこ、ロニーが行きました！ 同センターは、震災後のコミュニティ形成の拠点となります。ポーポキは、友だちと一緒にサポートしたいと思っています。開会式の一部を動画にしました。ポーポキのウェブサイトどうぞ！ <http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html>



私たちが到着したとき、  
デッキはまだ  
完成していなかった！  
でも、開会式の開始時間  
までにできた!!!  
ポーポキ友情物語  
を展示しました→



<http://popoki.cruisejapan.com>  
[popokipeace \(at\) gmail \(dot\) com](mailto:popokipeace@gmail.com)





「ポーポキ友情物語」も展示・販売されています！





あと、2ヶ月もすれば、世界が変わったあの3月11日から1年が経ちます。この日を境に、わたしたちは、津波の恐ろしさとともに、原発事故によって放射能の恐ろしさも知ることになりました。「原発」や「放射能」という言葉が日常語になってしまった今日、これまでの生活のあり方と真摯に向き合い、考えるときがきていると感じます。

わたしたちは、どのように考え、自分や社会と向き合えばよいのでしょうか？

3. 11以降、不安な気持ちに呼応するように、いろいろな考えをもった人たちが、様々な動きやアピールをしてきています。そんな中、私は原発の是非について消費地からも声をあげ、大事なことは自分たちで決めようと、大阪市で市民投票を行うための署名活動に関わってきました。

市民投票という直接請求の形をとることで、少なくとも有権者の人には考えて自分なりの答えを出す責任と義務が発生します。大切な1票のために、もっと情報を開示してほしいとか、議論の場ももっと多くなると考えるようになる。だから、わたしは市民投票ができたらいいいと考えました。

もちろん、問題も含んでいます。けっして「みんな」が有権者ではありません。例えば、大阪市では在日の方が多いですが、有権者とはみなされていません。また、多数決での決め方自体が、本当に一番いい方法かは、議論の余地があります。問題点はあるわけですが、きちんと自分のこととして考え、行動するためのきっかけとして、社会と自分とのかかわりを考えるうえでとても大切なことだと思っています。

署名活動は、本当に大変でした。1ヶ月という署名期間の間に大阪市民の有権者の50分の1(42,673筆)を集める必要がありました。また、署名簿は24区ごとに分けなければならないうえ、必ず自署で、生年月日や判子も必要です。市民投票にたいする認知度も低い中、最終的には61,087筆の署名簿を提出することができました。

個人情報の扱いが問題となる昨今において、街頭や知り合いを通じて、生年月日と判子まで必要とする署名に、寒い中多くの市民の方々が足を止め、意見を交換して署名してくださいました。集めるほうも、毎日必死で、寒さと闘いながら街頭に立ちました。この法廷署名の1筆は、本当に重く、大切な1筆です。

街頭で、呼びかけを行うたび、さまざまな意見があることがわかりましたが、等しく感じるのは、「原発」のことを考えていない人はほとんどいない、ということです。この署名の意義はいろいろあると思いますが、わたしは、こんなにたくさんの人(大阪市民)が、福島の人たちや原発のことに関心を持っているんだよ、声を大にして被災地の方々に届けたいです。

また、「有権者ではないけれども」と断りつつ、在日の方々がたくさん協力、応援くださいました。一緒に街頭の署名活動にも参加くださったり、おにぎりを作って事務所にお手伝いに来てくださいました。降りかかる社会の問題は同じなのに、選挙権がないのはやっぱりおかしい。

「平和」な社会を、社会にいる自分たちが責任をもって築く。そのためには、どのようなプロセスや、どのようなしくみが必要なのでしょう？あらためて、問われる問題だと痛感しました。



必要署名数を越えることができたのは、まだまだスタート地点にたったに過ぎません。これからが、本当に市民が社会を作っていく本番の始まりです。原発の問題をきっかけに、その他社会の問題について、「みんな」で考え、行動するにはどのようなよりよい方法があるのか。たくさん色がまざって、新しいきれいな色がたくさんできる、そんな社会にするためにも、ポーポキと一緒にきれいな色を求める旅を、勇気をもってこれからも続けていきたいです。



42,673 筆を越えたのがわかった瞬間



難波での署名活動

## ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

### Lesson 44

今月のポガも新しい本を使います。癒されるといいね。



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
  2. さて、立って、本を両手に持ちましょう。足も上半身も固定しながら、手を左へ、顔、口、しっぽを右へストレッチ！
  3. では、今度は反対側へ。
  4. 次に、本を持ちながら両手を後ろへストレッチ。できる方は、最初に本を持ちながら両手を体の前へ伸ばし、そしてそのまま頭の上を通して、後ろへ！
  5. できた！できたポーズをどうぞ！
- お疲れ様でした。第44回目のポガ・レッスンはこれで終わります。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

# 一緒にいかが？

次回のポー会 2012. 2. 2(木) 神戸 YMCA 305 号室 19:00～

2012. 2. 12-14 ポーポキ友情物 in 宮城県

2012. 2. 25-26 「第 12 回 (2011 年度) 中日本地区 YMCA グローバル教育研修会」に  
ポーポキ！ 六甲山 YMCA。 対象：YMCA の国際活動・グローバル教育に関心  
のある方。

2012. 3. 4 『ポーポキ友情物語』販売！ 神戸栄光教会

2012. 3. 8 人権講演会にポーポキ(&ロニー)。尼崎市立塚口総合センターと塚口本  
町人権啓発推進委員会主催。午後 7 時～8 時 30 分。 場所：尼崎市立塚口総合セ  
ンター 集会室尼崎市塚口本町 2 丁目 28 番 11 号。

2012. 3. 10 学習ポー会 下記を参照。

7. 7 HIV/AIDS イベント



## ポーポキと一緒に『いのち』を語り合いませんか？

## Won't you join Popoki to talk about 'life'?



私たちは今、生きている。  
それって、どういうこと？  
いのちって、どんな色？においは？  
いのち。いきる。うまれる。  
いちど、一緒に考えてみよう！

日時：2012.3.10(土)14:00-17:00

場所：神戸YMCA 三宮会館

対象：興味ある方なら、どなたでもOK！

言語：主に日本語。英語もOK！

主催：ポーポキ・ピース・プロジェクト

持参するもの：①五感をとおして、「いのち」を示すもの。(例えば、一枚の写真、  
特定のにおいや味や感触をするものなど(1点)、②マイカップ、③好きなお菓子  
(少々)



# ポーポキ in メディア

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「布に希望 60 メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面
- 「社説 終戦の日」神戸新聞 2008. 8. 15
- 中国新聞「核廃絶への視点」2008. 7. 27 (核抑止論について……。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに……。





# 私にとってのポーポキ

アルビー・シャープ

翻訳者: 伊藤悠子



何年も前の涼しい秋の東京で、私は初めてポーポキと出会った。本の中のポーポキの絵を眺めながら、当時、なんて幸せで健康そうな猫なのだろうと思ったことがよみがえる。ポーポキの獣医に対する脅えた様子に心が痛んだが、これがポーポキの幸せと健康を保つために、重要であるだろうと思なおした。

その時期、私は新たな発見の一步を歩み始めていた。それまで、健康と平和、これら2つは全く異なるものだと、私は考えていた。病院に行くことは、幸せとは全く無関係ではないだろうか？もちろん、医療によって健やかな世の中(世界)が維持されている。ポーポキは注射を打たなければならない、と私は思った。

しかしその後、私はもう少しこのことについて深く考え始めた。幸せな猫や幸せな人は、健康であることが多い。そして、健康な人、健康な猫は、たいてい幸せだ。したがって、健康というものは、医療という枠より、大きなものである。ポーポキの健康は、彼の食べるものや友達、習慣、水、安全で公平な環境によって保たれるのだ。言い忘れたが、ロニーの愛情だって、ポーポキの健康には大切な鍵だ。猫が(あるいは人間もだが)、暴力や権利等の剥奪、排除に直面したとき、それは健康とは真反対の状態を意味する。これは平和の正反対の状態でもある。

それでは、最大限、健康体の猫であるために、ポーポキは医療への権利を持つのだろうか？健康への権利はどうだろう？これらの権利を持つことは、ポーポキや彼よりもっと不運な境遇に置かれている猫たちにとって、どういった意味を持つのだろうか。あるグループの人は、他の人々よりも医療への権利を与えられているのか？あるいはより健康である権利を持っているのだろうか？

もしも医師や医療だけでなく、我々が生活する環境の全てが健康状態を作り出しているのならば、私たちは、健やかであることが実現可能な社会を作っていくことに、大きな責任を負っている。健康を医療の枠でのみ捉えようと、私たちは、健康になることを阻害する、隠れた問題にメスを入れることを怠ってしまう可能性がある。そして、健康でなければ、我々自身の、そして他者の権利や正義のために働きかけていくことが困難となる。汚染や廃棄物、無頓着さによって、私たちが環境を破壊するとき、これもまた平和と相対する。猫が有害な水によって病気になってしまったとする。病気の猫が再び同じ環境に戻らなければならないなら、その猫に薬を与えることに大きな意味はない。

したがって、ポーポキとその友人たちが行ってきたことは、平和に関しての事柄だけでない。全ての者にとって健全な社会環境を作り、そしてそれによって平和を構築するということである。

平和とは健康である。また、健康とは平和である。これら2つは切っても切れない関係なのだ。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災

をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500円 何円でも結構です。

